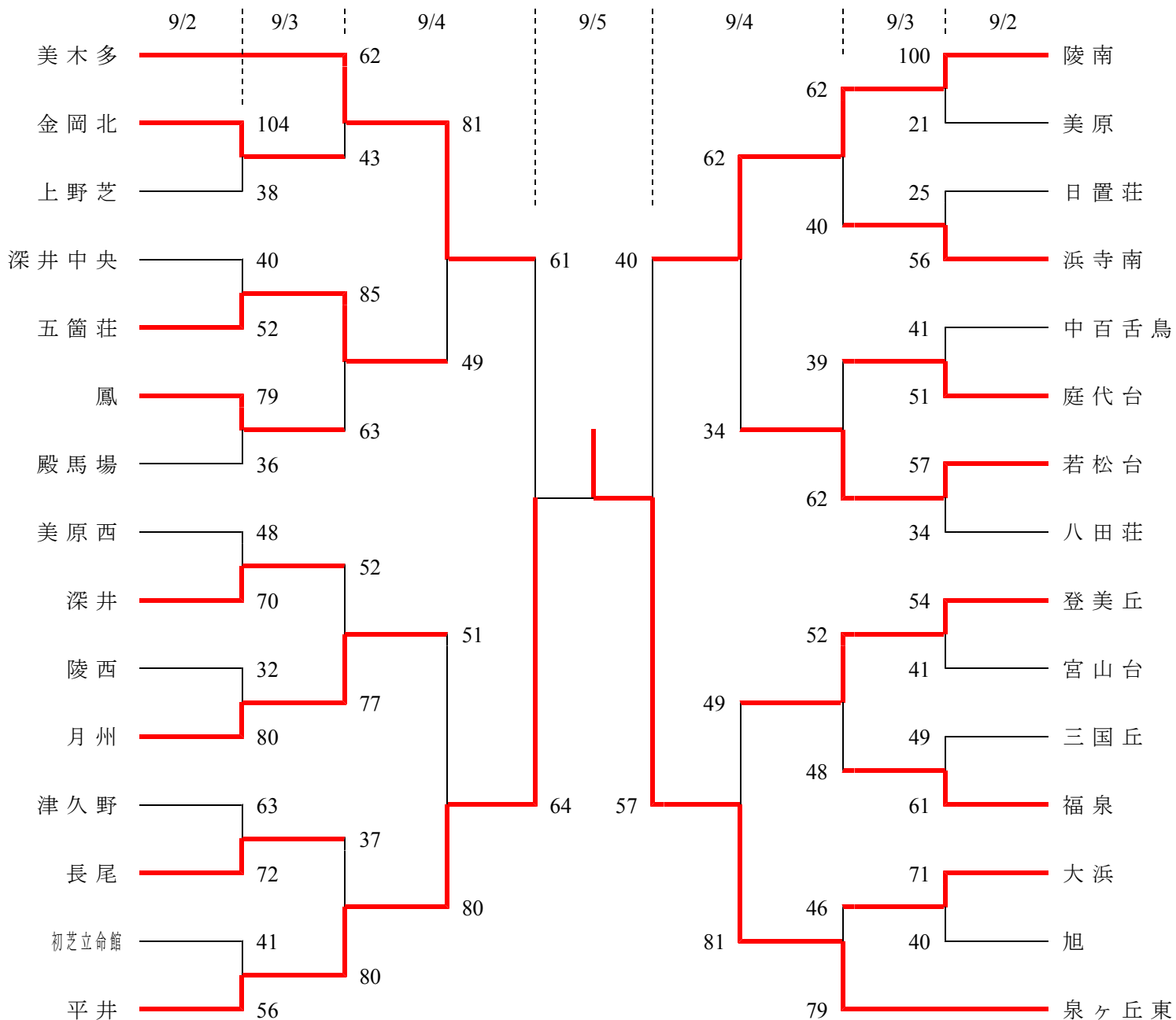


2011年度堺総体

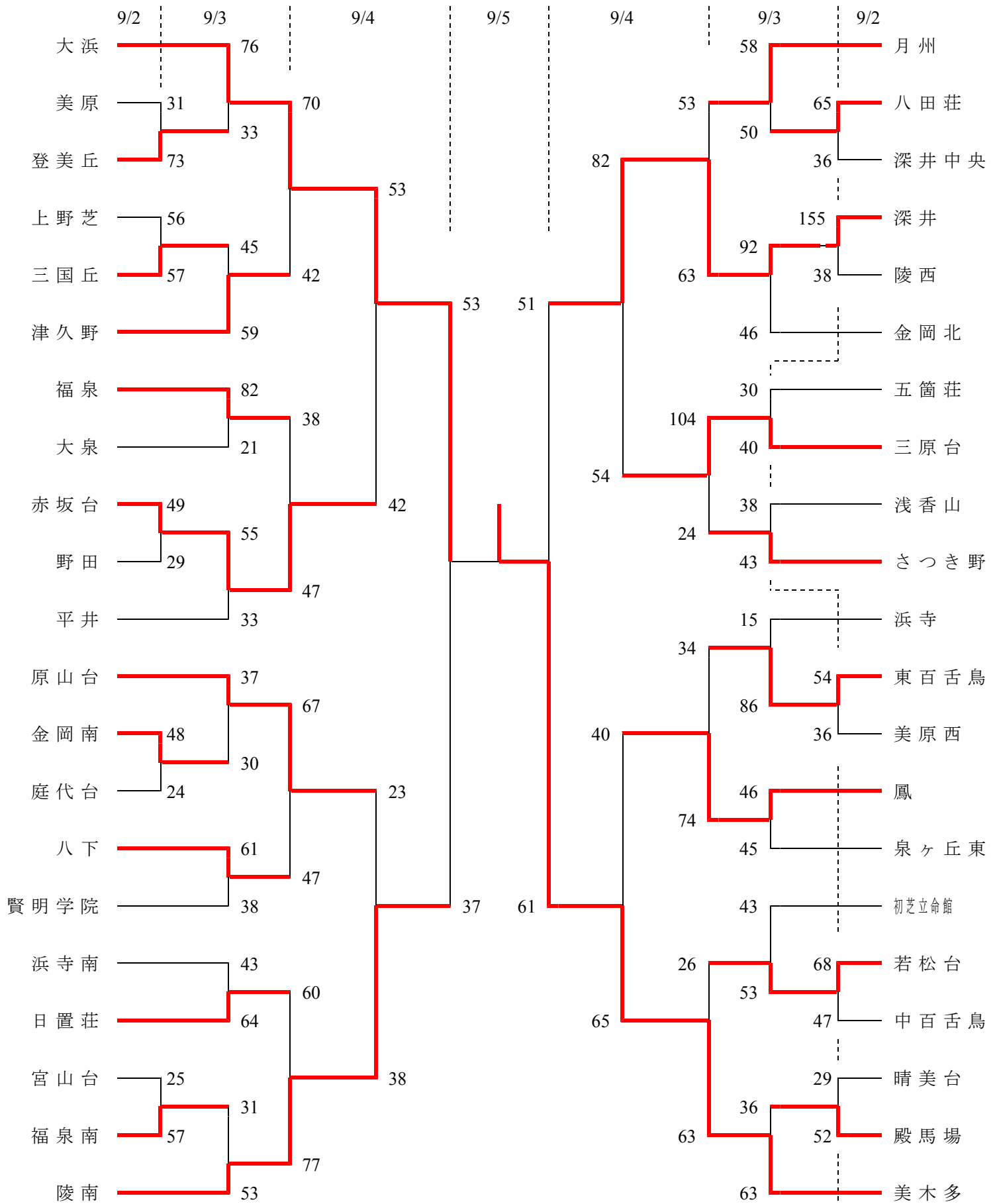
男子の部



決勝

平井	5	0	-	7	1	泉ヶ丘東
	13	1Q		18		
	10	2Q		22		
	11	3Q		13		
	16	4Q		18		

女子の部



決勝

大浜	5	4	-	5	8	美木多
	13	1Q		16		
	13	2Q		15		
	17	3Q		10		
	11	4Q		17		

男子決勝戦評

平井④⑤⑦⑩⑱、泉ヶ丘東④⑤⑥⑦⑬、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。④のドライブで泉ヶ丘東が先制し、続けて⑥のジャンプシュートでリズムよく点数を重ねる。対する平井は⑤のハイポストからの1対1で対抗するが、ディフェンスを崩しきれずにシュートが決まらない。泉ヶ丘東はディフェンスを2-2-1ゾーンプレスからの2-3ゾーンにチェンジし、平井のミスから加点する。平井もタイムアウトで落ち着きを取り戻すものの、18-13と泉ヶ丘東リードで1Q終了。

2Qに入ると平井は泉ヶ丘東⑤の高さに苦しみ、オフェンスがなかなか機能せず、終始単調な攻めとなる。対する泉ヶ丘東は④⑥を中心にオフェンスを展開し、リズムよく得点し40-23とリードを広げ前半を終える。

3Qでは平井がディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、がんばりをみせる。そこから平井④のドライブ、⑤のジャンプシュートで反撃する。しかし、泉ヶ丘東は5人がバランスよく得点し、平井の追い上げを許さない。

4Qも互いの3年生が意地を見せ、力強いプレーが続く。その中で泉ヶ丘東⑤の3連続ゴールなどで平井を突き放し、泉ヶ丘東が優勝を飾った。(福嶋、福渡)

女子決勝戦評

大浜④⑤⑥⑦⑨、美木多④⑤⑥⑦⑨、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。大浜⑥がこぼれ球を押し込み試合が動き出す。大浜は⑤や⑥の積極的なオフェンスリバウンドから点数を重ねる。しかし、ターンオーバーがやや多く、なかなかリズムがつかめない。一方、美木多は大浜のミスからバランスよく得点を重ねてゆく。それでも1Qの最後に大浜⑤⑥がそれぞれ得点を返し、16-13と美木多の3点リードで終える。

2Qでは大浜⑥ががんばりを見せリズムをつかみかけるが、美木多も④⑤⑥⑦と全員がよい動きを見せ譲らない。大浜⑥が3Pを決めれば、すかさず美木多④が3Pを決め返し、互いに一進一退の攻防を繰り返す。そんな中、美木多⑤⑦がオフェンスリバウンドからシュートをねじ込み、美木多が31-26とリードして前半を終える。

後半が始まって、一瞬も気を抜けない攻防が続く。大浜は美木多のシュートミスから④⑤が連続得点をあげ追撃する。美木多も④から⑤の合わせや⑥のドライブなどが決まり41-41と同点となる。そこから大浜⑥がドライブを決め、43-41と大浜が逆転して3Qを終える。

勝負の4Qは大浜④が1対1や3Pを決め、チームを鼓舞する。また大浜⑩がリバウンドシュートを決め、チームに勢いを与える。しかし、美木多は⑤が合わせのシュートやリバウンド、1対1と活躍をみせる。そして、美木多⑥が連続で3Pを2本沈め、ついに再逆転に成功する。さらに美木多⑤がリバウンドシュートを押し込み、4点差となる。残り40.7秒で大浜はタイムアウトを請求し、⑥にボールを託すものの、美木多は気迫のディフェンスで24秒オーバータイムを勝ち取る。互いの意地と意地をぶつかり合わせた名勝負は58-54で美木多に軍配が上がった。(塩井)